

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ
～2020年4月22日(水) 18時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月20日(月)～22日(水)

- 22日(水) 16時現在, 州内の感染者数は前日比529人増の1万5914人で, うちサンパウロ市が1万691人, オザスコ市が353人, サン・ベルナルド・ド・カンポ市が339人と続く。死者数は同41人増の1134人。感染が確認されたのは州内241市, 死者は100市に達した。州内の入院感染患者数は約6100人。集中治療室の占有率は55.3%, サンパウロ大都市圏内では同73.7%。
- 22日(水), サンパウロ州政府は現在の外出自粛措置(クアレンテーナ)の内容を予定通り5月10日(日)まで維持するとして, 翌11日(月)以降の経済活動の段階的な再開に向けた「Plano Sao Paulo」を策定すると発表。同プランは他国の経験も参考にしつつ, 経済各界との対話や医療システムの現状等を考慮して策定する。また地域毎の状況を踏まえて個別に判断する方針。なお, ドリア・サンパウロ州知事は, 外出自粛措置期間中においても, 州内の多くの経済部門は活動を続けていると説明。
- 22日(水), ブタントン研究所の代表は4月4日(土)時点で1万7千件だった検査待ち件数が21日(火)現在でゼロになったと説明。これまで計3万5千件の検査を実施, 対応可能なラボは州内38か所。
- 22日(水), サンパウロ州政府はサンパウロ市内の180万人以上の高齢者のうち約29万人(16%)が一人暮らしで, その約2万2千人が90歳以上と発表。コロナウイルスの感染が広がる中, 慢性病を抱える単身高齢者は全体の63%に達し, 事情により支援を求められない人は8千人以上に上ると説明。
- 22日(水), サンパウロ州政府は21日(火)の州内の社会的隔離の実施率を57%と発表。
- 20日(月), サンパウロ州政府は外出自粛措置により州内の大気汚染物質の排出量が50%減少と発表。
- 22日(水) 15時現在, サンパウロ市内の仮設病院の入院患者数は前日比26人増の計266人。

2 マット・グロッソ州

4月20日(月)～22日(水)

- 22日(水) 18時現在, 州内の感染者数は前日比24人増の205人, うち州都クイアバ市が102人。入院患者数は15人。死者は20日(月)に確認された6人目から変わらず。
- 22日(火), 同州保健局は, 統一保険医療システム(SUS)に参加している州内医療機関におけるコロナウイルス感染患者向けの集中治療病床は101床, 一般病床は400床あると発表。
- 22日(火), 同州政府は, 州内各市に対し, コロナウイルスの予防措置に関する新たな指針を政令で公布した。コロナウイルス感染患者向けの州内の集中治療病床の占有率が60%を超えている状況等を踏まえ, 引き続き社会的距離の確保, 衛生管理の徹底, 人の密集を避ける等の基本的な措置の厳格な履行を求めつつも, 宗教団体による集会や州立公園の営業再開等について, マスクの着用や人との距離を1.5メートル以上確保しつつ人数を制限するなどの条件付きで許可する内容となっている。
- 20日(月), クイアバ市は27日(月)以降, 小売り, サービス, 製造等の経済活動を段階的に再開と発表。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

4月22日(水)

- 22日(水) 午前11時現在, 州内の感染者数は前日比2人増の175人, うち州都カンポ・グランデ市が91人。入院患者数は20人。死者は21日(火)に確認された6人目から変わらず。
- 22日(水), 同州政府は, コロナウイルスの感染状況を把握する一環で, カンポ・グランデ市内でドライブスルー形式の検査を実施したところ, 463人のうち453人が陰性, 10人が陽性を示したと発表。今後, 他の州内主要地域の感染状況も調査すべく, ドウラードス市及びトレス・ラゴアス市でもドライブスルー形式の検査を実施する予定。

(了)